

富山第一高等学校

令和4年度 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓の「剛健」「練体磨心」を基本理念に、知・徳・体、調和のとれた人材を育てる

(ア) 心身ともに強く健康で、学力・品格ともに備わった人材を育成する

(イ) 課外活動を含め学校生活を通じて社会性と豊かな人間性を育む

(ウ) 生徒個々の能力・適性に意を用いた指導を行い、目指す進路を実現する

2 学校の特色

生徒数は1,200名を超え、県下最大規模の全日制普通科高校である。1959(昭和34)年に開校、卒業生は3万4千名に迫り、各界各層で活躍している。「総合コース」「美術コース」「特別進学コース」に加え、令和元年度から「S特別進学コース」を設置した。多様な生徒が在籍しており、生徒の適性と希望進路に応じた特色ある教育を行っている。文武両道を標榜し、進学、部活動ともに実績を積み重ねている。

3 学校の現状と課題

部活動に熱心に打ち込む生徒が多く、複数の運動部が例年全国大会に出場している。文化部も全国の大会やコンクールで入選・入賞する生徒が多く、活躍している。部活動は活発で、学校全体に活気がある。

9割前後の生徒が毎年進学するが、自学自習への主体的な取り組みは十分とは言えない。学習習慣の定着と学力の一層の向上は継続した課題である。例年1割程度の生徒が就職を目指し、内定率は100%を維持している。

生徒が学力、体力、道徳、社会性を身に付け、調和のとれた有為の人材として社会に貢献できるよう、生活指導を基本にきめ細かな指導を心掛けている。

令和3年度入学生からは、1人1台端末を持たせ、学校と家庭との連絡や、授業でのICT活用に取り組んでいる。

4 学校教育計画(アクションプラン)

重点1 学習活動(教務部)

目 標	ICTを活用した授業展開と適正な新評価方法の構築
方 策	(1) 積極的にICT機器を授業で活用し、生徒の自主学習を促す (2) 各教科主任と密接に連絡をとり、新学習指導要領に適した評価方法を構築していく

重点2 学校生活（第1学年）

目 標	よく気づき、よく動く生徒を育てる
方 策	①探究学習による非認知能力の育成 一人ひとりの生徒が多様な意見や価値観を発信し、それを教室の中で共有する授業の実施。 ②委員会活動による主体性、多様性、協働性を育む 学年で取り組むことで、一人ではなしえない活動の実施。 ③ICT教育の積極的利用 特別な支援を必要とする生徒も含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく公正に個別最適化された教育の実施。

重点3 探究活動（第2学年）

目 標	これからの時代に順応できる人材の育成
方 策	総合的な探究の時間に、社会課題をテーマとした探究活動（富山県内企業との連携など）を行い、以下の力を育成する ①講演、ワークショップ、フィールドワークを通して、社会課題を多面的に深く学び、思考する力 ②仲間との探究活動を通して、主体性や協働性を高め、自らの意思を伝達できる力（コミュニケーション力） ③探究活動の成果をまとめて発表する力（表現力）

重点4 生徒指導（生徒指導部）

目 標	・公共交通機関利用マナーの向上及び自転車の運転ルールの徹底 ・すすんで挨拶のできる生徒の育成
方 策	①校前指導を毎朝行う ②「さわやか運動」で挨拶や声掛け、乗車マナー指導を行う ③学年集会、「学年通信」、S・Tなどで具体例をあげて意識喚起を行う ④交通安全指導の日（1日・15日）には通学路に出向き、指導を行う

重点5 生徒会活動・特別活動（生徒会部活動振興部）

目 標	委員会活動やその他の活動を通して、主体的、積極的に活動できる生徒を育成する
方 策	①委員会活動において、一人一人の個性を互いに尊重しあうことの重要性を教える ②文化祭や体育大会などの学校行事は役割を分担し、個性を発揮する中で団結して取り組ませる ③社会に貢献できるよう、地域清掃活動などボランティア活動に主体的に参加させる ④将来設計の構築や目標の達成感を味合わせるため、部活動への加入を促す

重点6 保健指導（保健部）

目 標	<ul style="list-style-type: none">・生命を尊重し、生涯にわたり自らの健康を管理できる生徒を育成する・感染症予防対策の実践力を高める・学内の衛生環境の改善
方 策	<ol style="list-style-type: none">①保健の授業で応急処置や心肺蘇生法を習得させる②総合的な探究の時間に消防署職員を招き、救命講習を受講させる（対象は1年生）③総合的な探究の時間に、web 会議システムを使用して医師による性教育・LGBT 講演会を受講させる(対象は1・2年生)④毎朝の健康観察、保健の授業、「保健室だより」等の配布を通して感染症予防や健康管理の意義を学ばせる⑤保健主事を中心に学内の環境衛生の向上に努める

重点7 進路支援（進学指導部）

目 標	<ul style="list-style-type: none">・入試改革に伴う新しい入試制度及び大学入学共通テストの分析と、生徒の進路志望に合った有効で実践的な情報提供を行い、進路目標実現へ向けた適切な指導を行う・動画配信等オンラインによる教材や模擬試験を利用し、生徒の基礎学力の向上を図り、進路目標の実現に近づくよう指導する・オンラインによるオープンキャンパスや面接の対策を第3学年の各担任や学年担当教員と練り、生徒が不安なく受験できる環境を整える。
方 策	<ol style="list-style-type: none">①大手予備校からの情報や各種学校説明会に参加して得た情報を取捨選択し、各学年の担任に校内 LAN を活用して適宜配信し、情報の共有を図る②各種学校や業者から送付されてきた資料を直接配布する③各学年の特性に応じた適切な情報を配信する<ol style="list-style-type: none">1 学年：2 年次に選択する文系・理系の情報に加え、1 年次から受験を意識できるような情報の提供2 学年：各種学校の設置する学問分野の情報だけではなく、入試制度に関する情報の提供3 学年：志望校決定の参考になる情報や入試制度および昨年度の状況に関する情報の提供④生徒の進路志望調査をもとに、複数の教員が共通理解を持ち、進路実現につながる指導を行う⑤動画配信を利用した大学の講義を見たり、大学の教員と直接話したりすることによって、志望進路の具体化につなげる⑥受験に関する様々な事項のオンライン化に対応し、情報提供や機材の貸し出し等を行う

重点8 情報発信（総務部）

目 標	<ul style="list-style-type: none">・生徒、保護者に向けた情報を迅速かつ正確に発信する・本校の教育活動をタイムリーにホームページ上に公開する・web 出願に伴い、オープンハイスクール・部活動体験会・学校説明会の募集を web 上で行う
方 策	<ol style="list-style-type: none">①Classi を利用し、殊に保護者への情報発信を行う②学校行事等にスムーズに対応出来るよう、総務部内での活性化を図る③グーグルフォームを利用し、中学生がスムーズに申し込めるよう工夫する